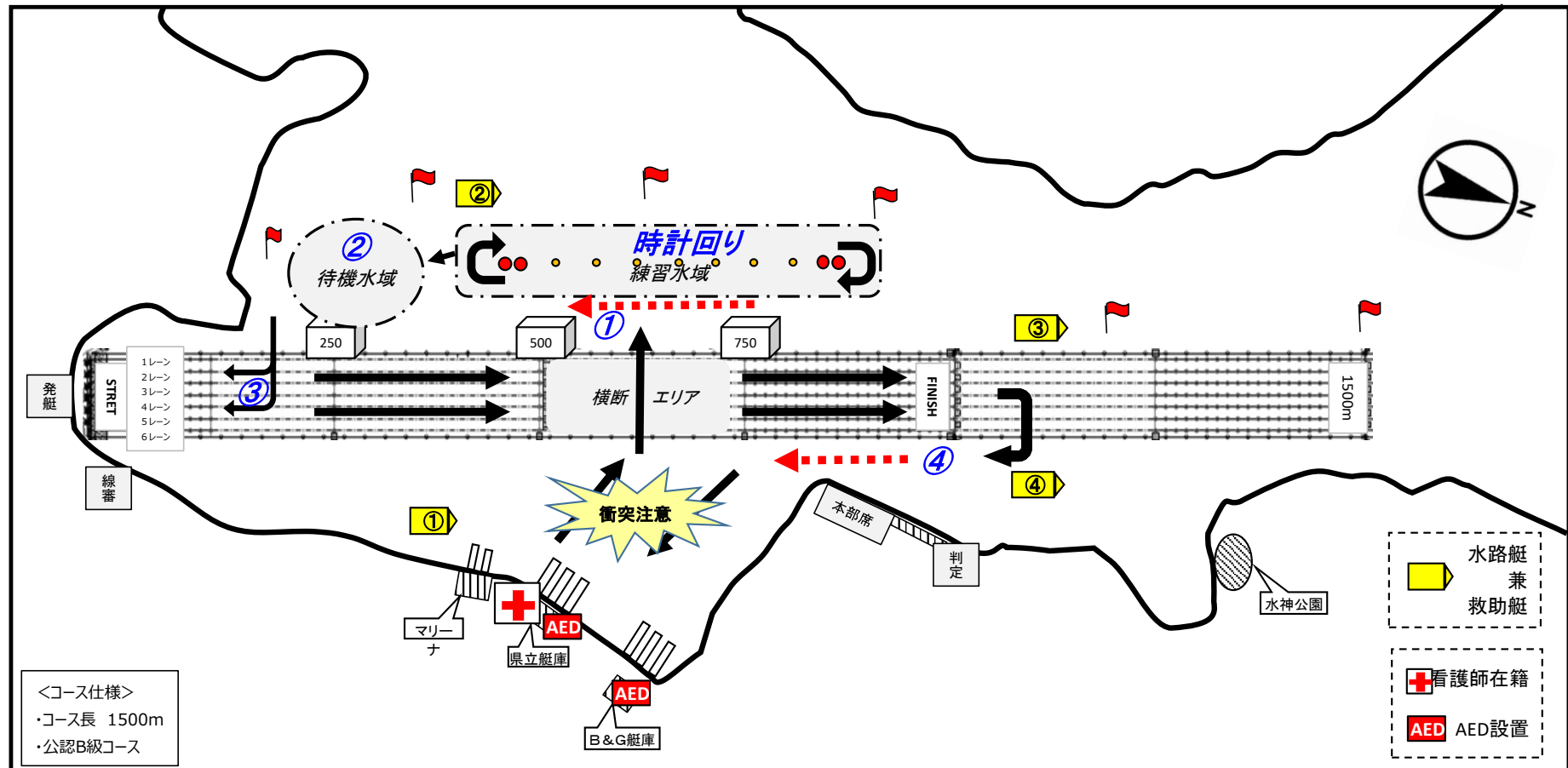


航行ルール（レース時）



- ◆ コースは対岸から1L, 2L, 3L...であり、県立艇庫側が6レーンである。
- ◆ コース対岸側には「練習水域」を設定している。（航行ルールは時計まわりとする）

＜出艇～帰艇までの流れ＞

- ① レースに向かうクルーは、県立艇庫（またはB&G艇庫）桟橋を出たら、500m～750mのコースを横断し、一度対岸側の練習水域へ向かう。
（練習水域はセンターブイを中心に「時計回り」とする）
- ② 自身の発艇定刻が近づけば、「練習水域」から「待機水域」へ移動する。
- ③ 発艇からの呼び込みコールがかかった後、待機水域からコース内へ進入、自己のレーンを通してスタート方向へ向かう。
- ④ フィニッシュ後は、本部席前の水域を通過して帰艇桟橋へ速やかに戻る。（美方高校クルーの自艇庫への帰艇は対岸側の航行は不問）

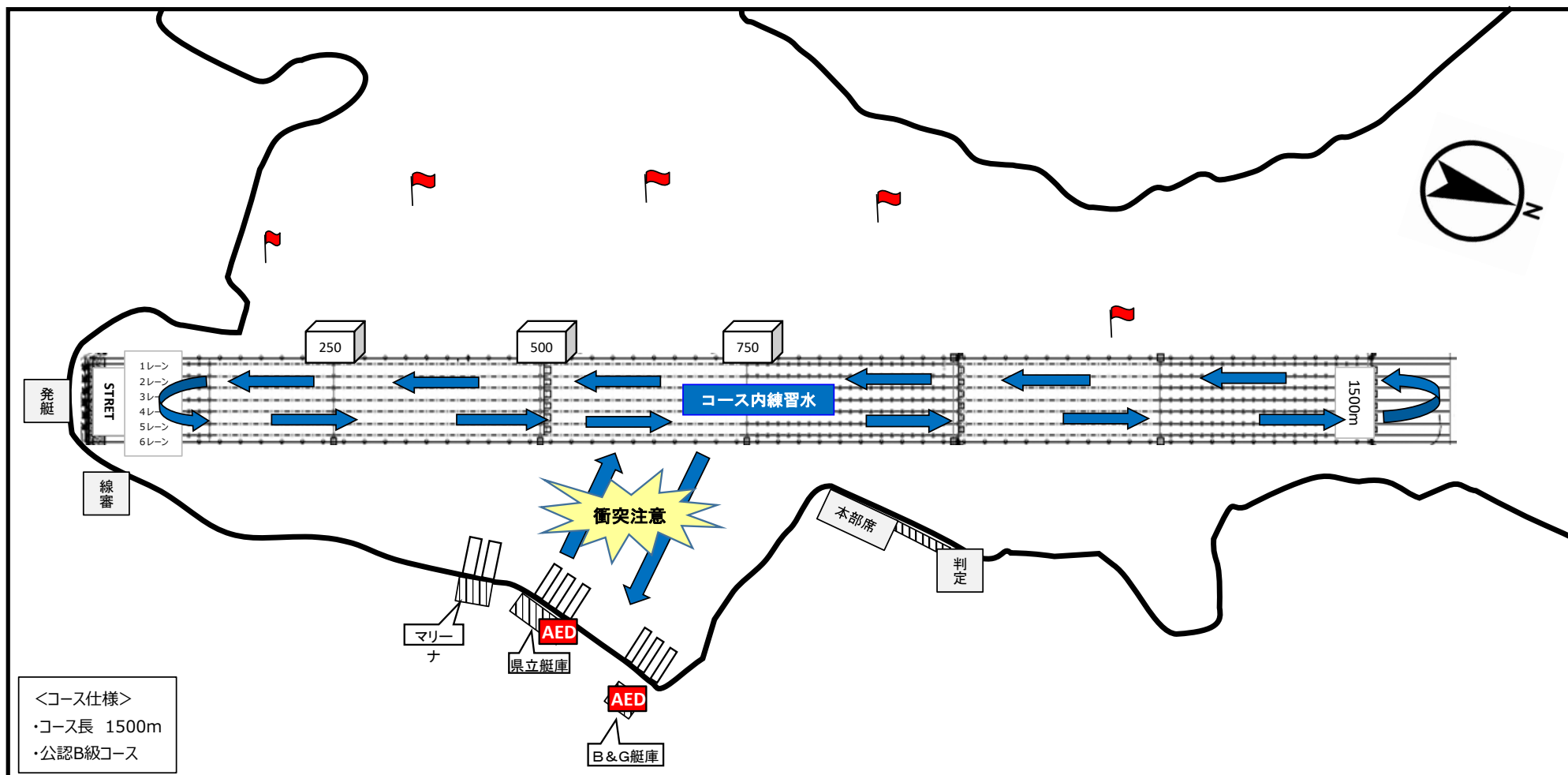
（注1） 練習水域のコース側およびゴール後の本部席前の各水域を航行する場合は、レース艇が100m以内に近づいたら、その場で停止すること。（違反クルーはイエローカード）

（注2） 対岸側の赤旗設置場所より沖側は危険水域であり絶対に超えないこと。

（注3） レースがスタートしている場合は、コース横断は禁止とする。レース状況をよく確認の上、横断すること。（レース通過後から次のレーススタートまでは横断「可」）

（注4） 発艇定刻に遅れる可能性がある場合（艇故障や体調不良など）には、近くの審判員（または水路艇）に伝えること。また体調不良など緊急時も同様。

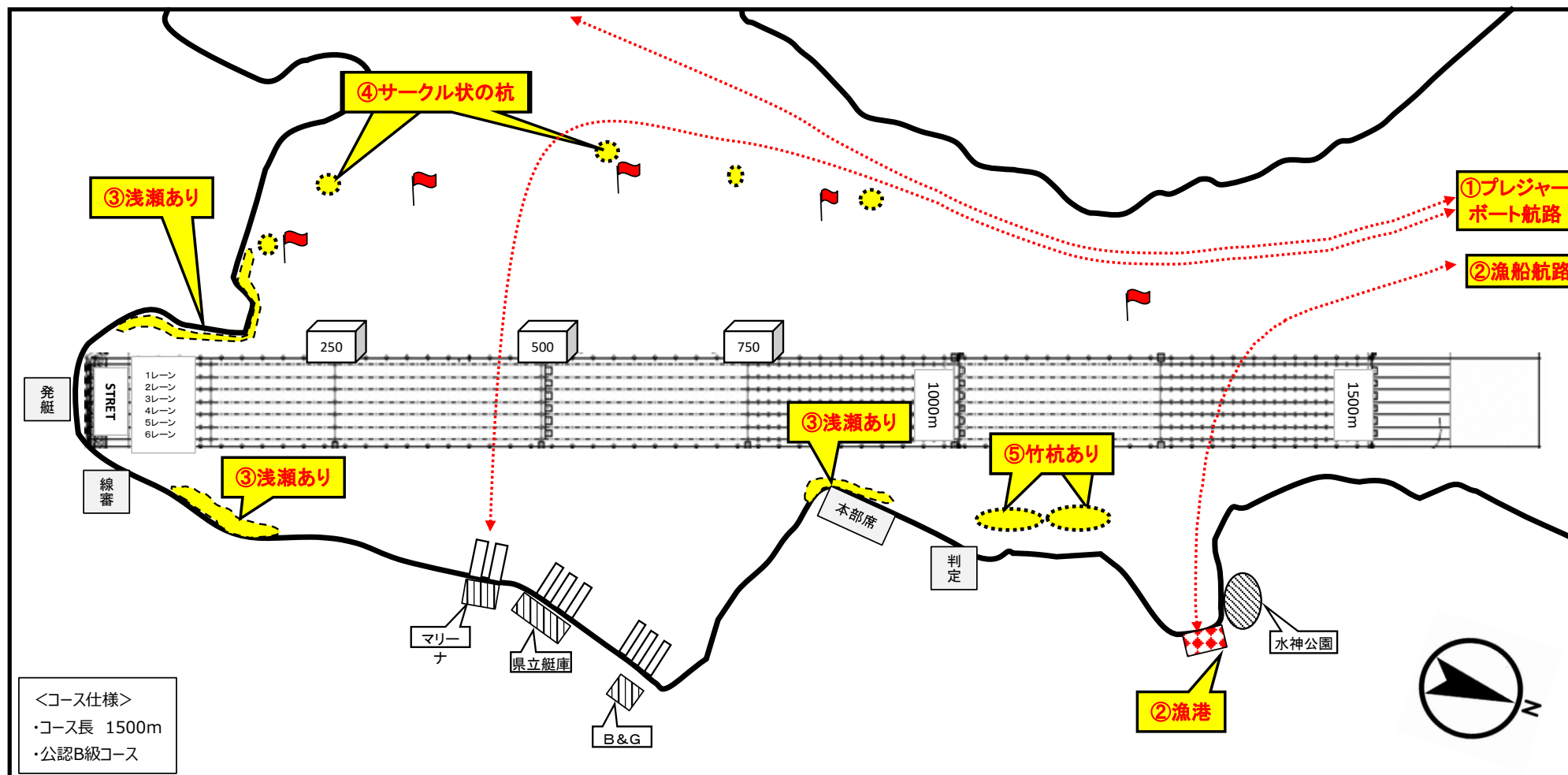
航行ルール (練習時)



- ◆ コースは対岸から1L, 2L, 3Lとし、県立艇庫側を6Lとする。
- ◆ 航行ルールは、1～2L が1500mフィニッシュ地点からスタート方向、4～6Lはスタートからフィニッシュ地点へ向うコース内反時計回りの航行する。
 (安全のため、3Lは使用不可！)

- (注1) 県立艇庫前は、出艇するクルーと帰艇するクルーの行き交う場所であり、接触・衝突のないよう周囲を十分確認し航行すること。
- (注2) コース脇には鉄柱が設置されているため、十分注意すること。
- (注3) 久々子湖では、遊覧船やプレジャーボート、また漁船などが走行するため、接触や引き波には十分注意すること。

ス々子湖ボートコース周辺の危険箇所



- ① 県立艇庫横のマリーナから沖合まで、およびコース沖合には、プレジャーボートの航路がある。(大会期間中のプレジャーボート航行の際は水路艇にて徐行を促す)
- ② 水神公園横には漁港があり、漁船が出入りする。(1500mフィニッシュ付近を横断する航路のため、漁船が出入りする際は水路艇にて徐行を促す)
- ③ スタート左右の岸近辺、および本部席前の岸近辺は浅瀬となっている。
- ④ コース沖合(県立艇庫対岸側)には、サークル状の杭が数箇所設置されている。
- ⑤ 判定部署前には、竹杭が広範囲に設置されている。